

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 3月

平成29年3月1日の推計人口 1,363,284人
世帯数 562,126世帯

参考：H27.10.1 現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

平成29年3月1日現在の推計人口は、1,363,284人で、前月(1,364,450)に比べ1,166人の減少となった。

市部では大村市(48)、対馬市(6)の2市で増加し、長崎市(364)、佐世保市(297)、諫早市(110)、南島原市(63)、壱岐市(51)、島原市(35)、五島市(34)、平戸市(28)、雲仙市(28)、西海市(21)、松浦市(10)の11市で減少した。

郡部においては佐々町(9)、波佐見町(3)の2町で増加し、時津町(131)、長与町(36)、新上五島町(10)、川棚町(8)、小値賀町(5)、東彼杵町(1)の6町で減少した。

自然動態は、出生数851人、死亡数1,496人で645人の減少、社会動態は、転入者数2,907人(県内転入を含む)、転出者数3,428人(県内転出を含む)で、521人の減少となった。

2 世帯数

平成29年3月1日現在の世帯数は、562,126世帯で前月(562,685)に比べ559世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…1月

1人当たり現金給与総額 249,229円
対前月比 56.0%減少
対前年同月比 0.7%減少

1 賃金

1月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額249,229円で、前月に比べ56.0%減少し、前年同月に比べ0.7%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は248,177円で、前月に比べ0.7%減少し、前年同月に比べ0.6%増加した。

特別給与額は1,052円で、前年同月に比べ、3,105円減少した。

2 労働時間

1月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は151.3時間で、前月に比べ4.6%減少し、前年同月に比べ0.7%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は138.9時間で前月に比べ4.7%減少し、前年同月と比べ0.4%減少した。

所定外労働時間数は12.4時間で、前月に比べ3.1%減少し、前年同月に比べ3.7%減少した。

3 雇用

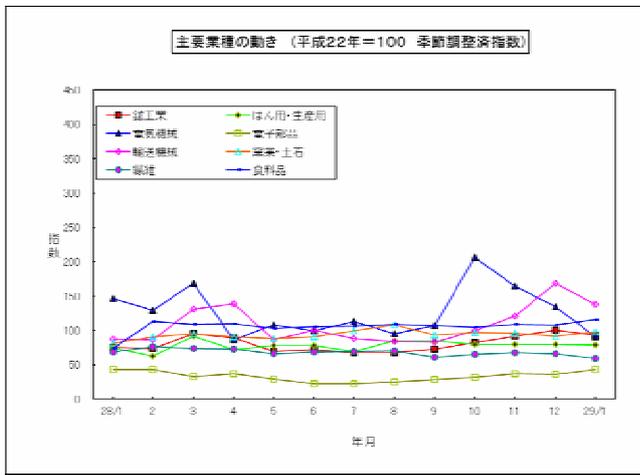
1月の常用労働者数は212,828人で、前月に比べ0.7%減少し、前年同月に比べ0.5%増加した。

【鉱工業生産指数】……………1月

平成29年1月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
		前月比(%)		
長崎県	93.3	6.7	82.8	26.2
九州	110.6	2.0	103.1	12.7
全国	100.2	0.4	93.1	3.7



平成29年1月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が93.3で前月比は6.7%の減、原指数は82.8で、対前年同月比は26.2%の増となった。

業種別にみると、電子部品・デバイス工業、食料品工業、窯業・土石製品工業など6業種が上昇し、電気機械工業、輸送機械工業、繊維工業、はん用・生産用機械工業など7業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電子部品・デバイス工業	18.6	3.0	半導体集積回路
食料品工業	7.9	57.6	生菓子(洋生菓子)
窯業・土石製品工業	6.3	19.4	生コンクリート

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	32.7	37.2	交流電動機
輸送機械工業	18.2	63.1	修繕船
繊維工業	10.7	14.1	合成繊維糸
はん用・生産用機械工業	1.6	2.1	タービン

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 2月

総合指数(H27=100)	100.1
対前月比 (%)	0.1
対前年同月比 (%)	0.0

平成29年2月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、100.1である。

前月比は、0.1%の下落で、下落要因は「食料」の0.5%、「保健医療」の0.5%、「交通・通信」の0.5%であり、主な上昇要因は、「教育娯楽」の+0.5%である。

前年同月比は、平成28年11月は+0.7%、12月は+0.3%、平成29年1月は+0.4%と推移した後、2月は0.0%の同水準であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は100.0であり、前月比は0.0%の同水準、前年同月比は+0.1%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

光熱・水道	0.4%
教養娯楽	0.5%

下落した費目

食料	0.5%
家具・家事用品	0.1%
保健医療	0.5%
交通・通信	0.5%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……2月

消費支出(一世帯当たり)	243,470円
前月比	13,908円減(5.4%減)

平成29年2月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は243,470円で、前月比5.4%の減。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は80.5%であった。

主な支出内容	支出額(円)	前月比 (%)
食料	61,331	5.7
住居	14,139	2.3
光熱・水道	28,413	7.7
交通・通信	38,450	3.5
教養娯楽	13,069	8.8

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。